

学校番号	15	学校名	静岡県立東部特別支援学校	記載者	池上 千穂
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

(1) 〈守る〉安全で安心な教育環境

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
安全な学校環境の整備				
命を守る緊急時対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して学校生活を送ることができたと答える児童生徒 100% ・適切な判断と行動で安全に支援することができたと答える教職員 100% 	A	A 7	<p>近隣で犯罪者逃走事案が発生した際には、保護者へ速やかに情報提供を行い、安全面に配慮した適切な対応をしていた。</p> <p>先生方の異動などもあると思いますので、繰り返し行うことが重要だと思います。</p> <p>特に要医ケアの児童・生徒への対応は個別性が高いこともあり、非常時は一般マニュアルと個別計画（各家庭との連携方法含む）で備えをより手厚くしてほしい。特に学校でできることとできないことを明確にし、家庭の理解と具体的協力を得やすくしていくと良いと思います。</p> <p>訓練や講習会など計画通り実施できているのは良いことだが、マナー化しないように違う視点からでもできるように方法を考えることも良いのかもしれない。</p> <p>難しいとは思いますが、児童生徒 100%については、対象は全校ととらえて良いのか、この表現（内容）の目標で良いのか。</p> <p>児童生徒の母数は何人か。</p> <p>「支援することができた」という目標への評価に情報共有や、対策の検討は書いてあるが、実際の場面はどうだったのか。</p>
人権を尊重する教育				
こどもの人権を尊重した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる学校生活の中で、友達や教師と関わったり自分や仲間の良さに気付いたりすることができたと答える児童生徒 90%以上 	A	A 6 B 1	<p>児童生徒が自分の思いを表現しやすいよう、教職員の関わりが工夫されていると感じる。</p> <p>クラス替えなどが無い場合は、一層他人を認めるという思いや行動が大切だと思います。</p> <p>重い障害のあるこどもの教育を受</p>

					<p>ける権利についてどのように考えているのか？ 県教委のガイドラインには学校ごとの判断ができない内容もあると感じる。学校側と県の意図するものを保護者や関係者に伝えて行ける場があると良いと思います。</p> <p>反省点や改善点を来年度の人権ミーティングでも踏まえてより良く児童生徒と関わってほしい。</p> <p>成果目標に教師の自己評価もあると、より取組目標の「教育の推進」の評価が充実する「人権」とは何でしょうか。</p>
--	--	--	--	--	--

(2) 〈育む〉確かな学力や豊かな心と生きる力

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
学び・授業の充実、専門性をいかした肢体不自由教育の向上				
<p>自分らしく生きていくための学びや経験を促す系統的・段階的な教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来の生活や夢について考えたり、進路について知ったりすることができた児童生徒90%以上 	A	A7	<p>現在も十分対応いただいておりますが、特性に合った事業所選択に繋げるため、キャリア学習会で扱った内容を参考に、それぞれの事業所がどのような特性の方が利用しているのか情報共有をしていただけるとありがたい。保護者の不安軽減のため、事業所見学の詳しい流れについて早い段階で教えていただくと助かる。事業所見学の回数をもっと増やしていただくとより納得のいく選択に繋がると感じる。</p> <p>いろいろな経験や機会をできる限り増やした方が選択肢が広がり夢が増えると思います。</p> <p>卒業生の活躍など、卒業後の生活をどのように送っているか、知る機会をもっと多くもてるように、例えば福祉サービスや（就職した方）企業、地域など紹介する場を増やせると良いと思います。</p> <p>生徒や生徒と関わる先生方の様子を見ていて、充実した教育ができていることを感じます。</p> <p>引き続きの情報収集などを行い、正確なその子に合ったものが提供できたら良い。</p> <p>成果目標について、具体的なものがあるととっても分かりやすい。</p>

	<p>専門性をいかした授業の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画を授業に活用できたと答える教員 100% ・「できた」「分かった」など、喜びのある学びがあったと答える児童生徒 90%以上 ・児童生徒の実態に合った目標や活動内容、支援を設定することができた教員 80%以上 ・体育や音楽、図工美術の授業に楽しく取り組むことができた児童生徒 90%以上 ・ICT 活用を1回以上行ったと答える教員 95% 	<p>A</p>	<p>A 7</p>	<p>自由参観の日以外にこどもの活動の様子を知りたいときは、保護者が自由に見学することは可能なのかまた、その際は事前に連絡をした方が良いのか。中学部、高等部では、こどもの自立を促す観点から見学は控えた方が良いかなど学校としての考え方や方針があれば教えてください。</p> <p>生徒の実態に合った成功体験は困難克服の喜びがあり、有意義なことだと思います。</p> <p>肢体不自由であってもできることはたくさんあり、その可能性を見付けていくことは大切です。AI 技術の進化など今の時代に合ったスキルを身に付けたり、その方の健康を守るルールになったり効率且つ効果的に活用してほしいです。</p> <p>従来行事の体育祭等の継続や生成 AI の専門的授業など現代らしさも取り入れてより可能性を引き出していけると良いと思います。</p> <p>児童・教職員ともに 100%達成できているのは素晴らしいことだと思う。来年度もそうなるように頑張してほしいところだと思う。ICT 活用も日々進化していくことなので、外部の研修会などに参加していただき、役立てていただきたい。</p> <p>肢体不自由教育の専門性とは？教えることも大事だが、学ぶ子の身体や配慮などのことはどうでしょうか。そういうことが指導の中に含まれているか知りたい。座ってやる授業が多いですが、床に座ったり横になってやることも手足の可動域などの工夫に繋がるのでやってみてほしいです。車椅子に座っているのは結構大変です。(ひとり一人の身体を知らないとできませんが、Dr、PT、OT、保護者などに確認ができるならやってみてほしいです。)</p>
--	----------------------	--	----------	------------	---

(3) 〈つなぐ〉 児童生徒の学びと生活を支える連携

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
地域に根ざし、共生社会を構築する取組の推進・センター的機能の充実				
児童生徒の学びと生活を支える連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> ケース会議、校内支援委員会、幼児教室、見学会等を実施したことにより関係機関との連携が深まり、児童生徒の学びと生活が支えられたと感じる保護者、教員 80%以上 	A	A 6 B 1	<p>地域の様々な行事に参加可能な場合は、積極的に関わっていききたい。事業所職員を対象とした学校見学会では、日々の活動の様子だけでなく児童生徒との関わり方についても、十分に伝えられたと感じる。また、事業所職員が自身の関わっている児童生徒を見付けて、温かい表情で見守る姿からは、双方の間に築かれている良好な関係性がうかがえたのではないかと思う。関係機関との連携を深めることは支援面で必要だと思います。元々関係のある機関や個別ケースを通じての関わりは深化したと思います。しかし、重心や医ケアの対象者は母数も少なく、福祉支援者側も経験不足もあるため、更なる交流や連携する機会づくりを期待します。</p> <p>ケース会議や学校見学等を積極的に実施していただき、連携が深まっていると思います。</p> <p>今後より良い学校生活ができるように関係機関との連携をお願いします。</p> <p>施設見学などの学校（教員）が外に出ていくことは大事です。（社会や制度を知るために）実施しているので会議ではないが、やっていることとして入れると良いと思います。</p>

(4) 〈高める〉 教職員が互いに支えあう職場

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
教職員の資質向上				
学び続ける教職員	<ul style="list-style-type: none"> 授業や行事を参観し、「参考になった」と答える教職員 80% 	A	A 7	<p>教育研修だけでなく教職員同士が交流することで多様な学びや気づきが得られていると感じる。情報共有の面で授業・行事参加は良いことだと思います。参加できなかった方へ録画の提供も良いと思います。</p> <p>人事異動があり、教員個々の経験</p>

					<p>や福祉支援者との関係性も深まってきており、その維持・継続ができると思います。また、学校公開もあり、情報開示や繋がりやすさの点では高評です。</p> <p>時間的に難しいこともあると思うが、他学年、他学部の参観を頑張ってクラスに生かしてほしい。</p> <p>ぜひ身体のこと（自立活動）を丁寧に行なってほしいです。成果目標については、いつも同じ気がするるので視点を変えた目標も考えても良いのではないかな。</p>
業務改善の推進					
働きやすい職場環境の構築		<p>・事務職員が校務運営に参画して「教員の業務負担が軽減に繋がった」と答える教員 80%以上</p>	A	A 7	<p>学校ホームページで、日常の授業や行事の様子が毎日発信されており、保護者として子どもたちの活動がよく分かり安心感につながっている。日々の授業において困りごとが生じた際、教職員の方々が無理なく相談できる環境について今後も継続した整備を期待している。</p> <p>できる方が仕事を抱え込むのではなく分担し、スピーデ良いに処理できれば良いと思います。</p> <p>働く教員へのフォロー体制ができていてことで児童生徒に向き合う時間が増えて有難いと思います。</p> <p>ホームページ更新は、卒業生や地域の方々、事業所等、全国の人々にも知ってもらうことになる。より良い働き方ができますように。</p> <p>事務職のことを教員も理解し、協力していく姿勢を。経費などの無駄を考えたりするだけでも違うので、事務からの課題提示なども取り入れて良いのではないかな。例：今、予算の動きが大まかにこんな感じです。改善できそうなことを出して（現場で考えて）取り組んでくださいなど</p>

(5) その他（全般に、感想等）

全てのアンケート結果の数値が高いので成果が有り、関係者の皆さんは十分満足されていて良かったと思いますが全ての項目、全ての関係者が良いということで逆に違和感も有りました。目標を少し高し教職員の中では70%程度の項目が有っても良いのではという思いです。（決して達成できない計画を立てるということではございません）

成果目標が満足度で記載されておりますが、達成状況に記載されている内容、回数、スケジュール

様式第5号

も記載していただき実際にスケジュール通りにできたかという見方も評価という面では必要かと思いました。評価A～Dの基準に数値が記載されておりませんので数値を併記していただくと分かりやすいと思います。

学校は同じでも子どもたちは日々成長し、心身ともに変化します。また、時代はITなど先進的なものが次々教育に入ってきます。その中で、一番大切なのは子どもが中心にあり、学校全体が何を大切にして1つずつ取り組んでいくかだと思います。先進的なことも活用次第です。足元の専門性がしっかりしていないと害になることもあります。自己評価で様々なことに取り組まれていることは分かりますので、それにより子どもたちがどう育っているのか、本当にこれで良いのかを常に考えていただければと思います。特に身体のごことは大事なごことなので、よろしくお願ひします。

ホームページの改善良かったです。拝見しました。写真が多く説明も丁寧にされて充実していました。先生方の「夏休み何してる？」も良いと思います。発信は大事ですね。今後も期待しています。